

平成29年度

事業報告

社会福祉法人 白老宏友会

指定障がい福祉サービス 愛泉園

(生活介護事業)

目 次

1、総 括	・ ・ ・ ・ ・ 1
2、日中活動	
◎薬草加工・軽作業	・ ・ ・ ・ ・ 1
◎療育活動	・ ・ ・ ・ ・ 2
◎農耕作業	・ ・ ・ ・ ・ 2
◎給食作業	・ ・ ・ ・ ・ 2
3、作業工賃	・ ・ ・ ・ ・ 3
4、職員研修	・ ・ ・ ・ ・ 3
5、余暇活動支援	・ ・ ・ ・ ・ 3
6、自治会活動支援	・ ・ ・ ・ ・ 3
7、事故防止策および事故対応策	・ ・ ・ ・ ・ 3
8、なんでも相談（苦情解決）	・ ・ ・ ・ ・ 3
9、保健医療支援	・ ・ ・ ・ ・ 4
10、管理業務	・ ・ ・ ・ ・ 4
11、参考資料	・ ・ ・ ・ ・ 5
12、年間事業実施表	・ ・ ・ ・ ・ 6

1. 総括

生活介護事業として、利用者個々が安心して日中活動に取り組めるように施設内の活動環境の構築に努めながら、楽しみと季節を感じられる各種行事への取り組みを行いました。また、軽作業や創作活動など幅広くチャレンジした結果、生産活動に関しては売上総額が2,155,346円（前年比248%）を達成しました。また、創作活動においては「利用者作品展」の開催など社会参加を目的とした内容にも積極的に取り組み、個々の利用者の活動環境と取り組める活動内容が整ったことで情緒面での安定感がさらに増してきたと考えられます。

設備整備関係では、送迎を充実させるため公用車（定員10名）1台を購入し、社会情勢に合わせ防犯設備（カメラ・センサー）の設置も行いました。環境面では定員規模以上の各種設備と広い敷地の維持管理において、できる範囲での小破修理と衛生的な環境保全について努めてまいりました。

平成29年度の平均障害支援区分は4.8と昨年同様。利用者数は定員20名に対し在籍数が25名とこちらも昨年同様となっています。利用者の利用率も疾病などの影響も少なく前年度並みの利用率となっています。

2. 各種活動報告

〈薬草加工作業・軽作業〉

「よもぎのお風呂」「くまささのお風呂（現在生産終了）」の製造販売を行いました。「よもぎのお風呂」については、総数7,200個（前年比127%）、「くまささのお風呂」は総数112個（前年比93.3%）、総額330,838円（前年比約137%）の売り上げがあった。定期購入の個人売り上げや大口取引先の宿泊施設への納品があった。生産を終了したくまささのお風呂は、在庫分の販売のみに留まった。この活動は原材料費がかからず利益率も高いため、より収益を得ることで利用者への還元を目標にして行うが商品の在り方を検討したい。

委託業務である新聞たたみの作業については、安定的に行うことができている。8月までは一枚0.1円の枚数契約だったが、契約の見直しにより9月から一回の納品を150kgに変更し、一か月15,000円の契約となる。4月～8月、393,000枚、売上39,300円、9月～3月、売上105,000円の合計144,300円（昨年比171%）を得ることができ、利用者も継続的に関わることができた。また、季節商品（しめ飾り等の販売）や缶バッジ等を含めたプリント事業の売り上げは1,323,141円、地域事業者からの下請け作業の靴袋、木炭袋の作成活動（18,857枚、売上92,307円）など軽作業としては1,624,748円（昨年比約308%）の売上を得ることができ、生産活動全体としては総額2,155,346円（昨年比248%）を計上した。

尚、クリエイティブ班活動については、2020年のアイヌ民族博物館の国立化に向けた事業として、商工会の助成金を受けオリジナルアイヌ文様を施した缶バッジ類の試験販売を町内10カ所のホテルや小売店で開始（200円売/3,000個完売）。今後は販売の拡大と継続。さらに民間企業や公的機関に対しての周知を進めていく予定です。



【ポロトにて設置風景】

【缶バッチ製造風景】

【缶バッチ一例】

〈療育活動〉

何よりも本人との関係性の構築や理解を深めることを優先し、健康面、保清に配慮して、快適な日中生活を送るための支援を行いました。創作活動では、白老町の紙フェスティバル出展、障がい者アート展出展、利用者作品展を実施するなど、楽しみながら本人の意欲を高めるよう努めました。器具を使用した運動、敷地内の遊歩道をウォーキング、ゲーム機を使用したダンスなどを行い個々の特性に応じた支援内容を提供して、活動的に過ごすための支援を行いました。状態が安定的でない利用者に対しては、心理的なサポートを心掛けて、家族やグループホームとの連携による情報の共有化を図り、精神的な安定を基本として助言や支援を行いました。また、季節に沿った行事や各種行事等にも積極的に参加しています。又、アイヌ民族博物館や商業施設で販売する缶バッチ制作の一端に関わることで、地域振興にも貢献することができました。



【花壇づくり風景】



【飛生アートフェスティバル】



【利用者作品展】

〈農耕作業〉

農耕作業は、共生型事業所におけるご近所野菜市や他事業所での積極的な販売を行い、160,740円（昨年比445%）の売上があった。また、給食の一部食材として使用することで、新鮮な野菜を利用者に提供することができた。さらに行事等での使用をすることで栽培から消費までを一貫して行うことができた。しかし、害虫や鹿等による被害も多く目標値に達することができなかった。

尚、今年初めて販売したカシスは当初の予定量よりも大幅に上回って収穫することが出来た上に、販売単価も他の野菜に比べ高く設定して販売することが出来た。害獣（エゾシカ等）の影響もほとんど受けない事から、今後は更に面積を増やす予定としたい。

（生産実績） 園内耕地 じゃがいも、たまねぎ、とうもろこし、スティックブロッコリー、ブロッコリー、おかひじき、米ナス、ミニトマト、カラーピーマン、大根、ほうれん草、カボチャ、ミニきゅうり、春菊、枝豆

〈給食作業〉

給食提供に係る補助業務を行うことで就労意識や本人の自己実現に向けた支援を行いました。仕事に関わることを継続することで本人の意識改革や自分が必要とされているという自尊心を大きく育てることに寄与できたものと思われる。

3. 作業工賃

一律日額 150 円の工賃を支給し、25 名の利用者に対して総額 929,400 円（1 人平均年 37,176 円）を工賃として支出した。

4. 職員研修

各種研修への参加を通して見聞を広め、資質の向上を目指した。特に障がい者虐待防止法、人権擁護の研修を強化し行った。法人内研修報告会や事例研究発表会に参加し、資質向上と意識の共有化を図った。さらに新任職員向けの研修、支援会議等でのケース研究、てんかん発作への対応を統一化するための勉強会などを開催した。また、法人独自のマニュアルを活用した新任研修や、インターネット講義（サポーターズ・カレッジ）による基礎的な知識向上を目的とし、重点的に行いました。

5. 余暇活動支援

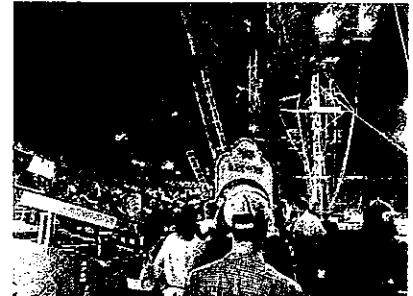
誕生会については、本人の誕生日に「愛泉園家族の会」の協力を得てプレゼントを用意し皆でお祝いを行った。週末にはカラオケやゲームなどの余暇支援を実施。年間行事では、白老牛のお店を貸し切り忘年会を実施。餅つき新年会、ハロウィンパーティ、節分、ひな祭り、バレンタインデーなど季節的な催しを行い、日常生活とは異なった各種体験の機会を提供することで、心身のリフレッシュ効果を狙う取り組みを行った。また、屋内外の行事として、調理体験教室（菓子づくりなど）、体育館を貸し切りレクリエーション大会・ゲーム的要素を取り入れた軽運動、近郊の施設への日帰り外出、月 1 度の大画面による映画鑑賞会などを実施し、余暇支援を充実させた。



【ドラムサークルの体験】



【白老牛の忘年会】



【木下大サーカスの鑑賞】

6. 自治会（ベストフレンズ）活動の支援

新年会や忘年会、誕生会などの司会進行などは利用者自治会が主体的に実施できるよう支援に勤めた。

7. 事故防止策および事故対応策

マニュアルを活用し、想定されるリスクへの意識を高め、防ぐための対応方法などを常に考慮できる視点を養うことを念頭にして、DVD などを活用しながら実施した。

8. なんでも相談（苦情解決）支援

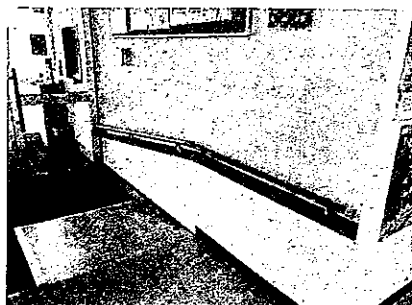
本年度においては、なんでも相談受け窓口に寄せられたものはなかった。

9. 保健医療支援

健康診断を行い、利用者の健康管理、維持に係る支援を行なった。また、毎日のバイタルチェックや表情などの観察をして、異変があればグループホームや家庭へ連絡をして必要な対応を行い、事業所での様子などケース会議等で情報の共有化を図った。インフルエンザ予防接種を行い、集団感染を防止するためのうがい、手洗いの励行など対応を行った。また、園内の手すりやドアノブの消毒を習慣化し、感染症予防を行った。てんかん発作を有する利用者については、発作の記録票をもとに家族へ報告を行い、医療対応の参考となるように配慮を行った。

10. 管理業務

予算の適正な執行に心がけ、経費節減に心掛けた。障害支援区分の変更、例年並みの利用率の維持ができた。厨房什器の一部改良や正面玄関の手すり設置、全館マスターキー対応工事など小規模改修、設備更新等や公用車の購入（1台）を行いました。今後も環境整備、不要物品等の処分等を随時行います。職員会議、支援会議、ケース会議等の会議の開催の他、事務部会・運営会議に参加。また、外部の会計事務所の監査を受けることで、会計の透明性を図りました。消防設備点検、浄化槽点検を行い、安全への配慮、設備の維持を行いました。また、災害を想定した（地震、火災）避難訓練を2回実施した。



【玄関手すり設置】



【避難訓練風景】



【送迎車両・リフト付き】

11. 参考資料

(1) 平成29年度利用者の状況 (平成30年3月31日現在)

1. 利用状況

(1) 定員及び利用者現員 (人)

事業	定員		現員
生活介護	20	男性	20
		女性	5
計	20		25

(2) 居住状況

在宅	5
グループホーム	20
計	25

2. 利用者の状況

(1) 年齢別

(人)

性別 \ 年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代以上	計
男性	0	3	11	6	0	0	0	0	20
女性	0	1	1	2	0	1	0	0	5
計	0	4	12	8	0	1	0	0	25
構成比	0.0%	16.0%	48.0%	32.0%	0.0%	4.0%	0.0%	0.0%	100%

* 平均年齢は36.7歳、男性は35.1歳 女性は43.2歳

* 最年少は22歳(男性1名)、最年長は67歳(女性1名)

(2) 障害支援区分別

(人)

性別 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
男性	0	0	0	10	5	6	21
女性	0	0	0	0	4	0	4
計	0	0	0	10	9	6	25
構成比	0.0%	0.0%	0.0%	40.0%	36.0%	24.0%	100.0%

市町村別利用状況

(人)

行政 \ 区分	1	2	3	4	5	6	計
白老町	0	0	0	5	1	0	6
苫小牧市	0	0	0	1	1	1	3
登別市	0	0	0	2	3	1	6
室蘭市	0	0	0	2	1	3	6
千歳市	0	0	0	0	0	0	0
江別市	0	0	0	0	0	0	0
札幌市	0	0	0	0	3	1	4
計	0	0	0	10	9	6	25

平成29年度 愛泉園年間事業実施表

	行事等 内容	会議・研修 内容	保健衛生・検査・その他等	
4月	辞令交付(3日) 法人役員交流会(7日) 誕生会(7日) 屋内活動①(19日)	理事会(1日) 外部監査(28日) 新任者研修(13日・20日・27日)	水質検査・検便検査(12日) 精神科嘱託医往診(13日) 利用者工賃支給(10日)	
5月	誕生会(19日) 花見(13日) 避難訓練/地震想定(26日)	外部監査総評(15日) 内部監査(24日) 理事会(29日) 事務部会(15日) 福祉人材育成講座①(11日)	水質検査・検便検査(10日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(11日) マイクロバス車検(27日)	
6月	誕生会(9日) 屋外活動(20日) 利用者作品展(6/22~7/7) 日胆地方パークゴルフ大会(26日)	福祉人材育成講座②(1日) 胆振総合振興局防犯設備監査(7日) 笑顔まつり実行委員会(27日) 評議員会(14日)	精神科嘱託医往診(8日) 利用者工賃支給(9日) 水質・便検査(14日) 健康診断(13日)	
7月	誕生会(7日) 日帰り旅行(5日) 映画鑑賞(8日) 北海道障害者スポーツ大会(8日)	室蘭市区分認定調査(4日) 福祉人材育成講座③(1日) 外部監査(25日) 事務部会(28日) 外部監査総評(28日)	支援会議(26日) 法人運営会議(24日) 職員会議(15日) 研修委員会(13日) 施設長会議(19日)	利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(12日) 精神科嘱託医往診(13日)
8月	野菜市販売(1・4・8・10・15・18・22・25・29日) DVD鑑賞会(19日) 誕生会(17日) 白老笑顔まつり販売(5日) 共生型事業:寺子屋(8日) 屋外活動②(17日)	ゆからモニタリング(9日・10日・16日) メンタルヘルス研修(23日) 内部監査(30日) 室蘭市区分認定調査(8日) 福祉人材育成講座④(3日)	水質・便検査(9日) 精神科嘱託医往診(3日) 利用者工賃支給(10日)	
9月	野菜市販売(1・5・8・12・15・19・22・26・29日) 映画鑑賞会(30日) 誕生会(22日) 屋外活動③(28日) 紙フェスティバル(8日~10日)	平取養護学校生実習(6日~8日) 福祉人材育成講座⑤(1日) 理事会(11日) 外部監査(21日) 外部監査総評(25日) 知的障がい関係職員研究会大会(20日~21日)	共生型会議(5日) 支援会議(27日) 職員会議(16日) 法人運営会議(27日)	精神科嘱託医往診(14日) 水質・便検査(13日) 利用者工賃支給(8日)
10月	映画鑑賞会(14日) 避難訓練/火災想定(17日) 支援研スポーツ交流会(24日) ハロウィンパーティー(30日)	福祉人材育成講座⑥(5日) 共生型運営会議(9日) 理事会(13日) 胆振総合振興局集団指導監査(27日) 白老町認定区分調査(26日)	支援会議(12日) 施設長会議(27日) 法人運営会議(23日) 職員会議(18日) 野菜市出店者総括会議(17日)	利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(11日) 精神科嘱託医往診(12日)
11月	誕生会(11日) 商業観光応援事業助成金審査会(6日) 屋内活動②(22日)	福祉人材育成講座⑦(2日) 商業観光応援事業助成金審査会(6日) 労基署労務講習会(9日) 労基署労務講習会内部研修(18日) 北海道障害者虐待防止・権利擁護研修(20~21日) 聴覚予防研修(21日) 外部監査(24日) 外部監査総評(27日) 法人内研修報告会(25日) 加齢化支援研修(27日)	支援会議(22日) 職員会議(11日) 施設長会議(6日・15日・29日) 研修委員会(14日) 共生型会議(28日) 法人運営会議(29日)	水質・便検査(8日) 利用者工賃支給(10日) 精神科嘱託医往診(9日) インフルエンザ予防接種(21日) インフルエンザ予防接種(30日/2名)
12月	映画鑑賞会(9日) 愛泉園忘年会(13日) 誕生会(8日)	福祉人材育成講座⑧(7日) 内部監査(11日) 理事会(18日) ポプリ札幌販売・製造協力(28日・29日) ゆからモニタリング(13日)	施設長会議(15日) 法人運営会議(20日) 職員会議(13日) 支援会議(20日)	水質・便検査(13日) 利用者工賃支給(8日) 精神科嘱託医往診(14日)
1月	誕生会(13日) 共生型事業:寺子屋(11日) 利用者新年会(6日) 映画鑑賞会(13日) 年頭所感 白老町新年文礼会	福祉人材育成講座⑨(11日) 登別市区分認定調査(23日) 外部監査(24日) 外部監査総評(26日) 事務部会(26日) 苫小牧市区分認定調査(30日)	職員会議(13日) 支援会議(24日) 研修委員会(16日) 運営会議(27日) 施設長会議(17日・22日) 法人運営会議(21日)	利用者工賃支給(10日) 水質・便検査(10日) 精神科嘱託医往診(11日) 浄化槽清掃(18日) ボイラー点検(23日) 防火設備点検(30日)
2月	節分豆まき(2日) バレンタインデー(14日) 映画鑑賞会(10日) 冬季レクリエーション(23日)	福祉人材育成講座⑩(11日) 理事会(3日) 法人内事例実践報告会(3日) キャリアパス説明会/正職以上(3日) 上川農業試験場視察研修(16日)	法人運営会議(21日) 職員会議(22日) 共生型会議(20日) 研修委員会(28日)	水質・便検査(8日) 利用者工賃支給(9日) 精神科嘱託医往診(8日)
3月	ひな祭り(2日) 三者面談(9・10・16・17・23・24) ホワイトデー(14日) 映画鑑賞会(17日) 誕生会(23日)	内部監査(14日) 外部監査(22日) 法人研修委員会(15日) 理事会(20日) 外部監査総評(26日) 事務部会(26日)	支援会議①(1日) 支援会議②(28日) 職員会議(14日) 法人運営会議(19日) 施設長会議(7日・12日・)	水質・便検査(14日) 利用者工賃支給(9日) 精神科嘱託医往診(8日)